

令和元度 第三回

- 3 「海洋の汚染は大きな問題である。」という文について、——線部「大きな」と同じ品詞のものをア～エから一つ選び、記号で答えなさい。
- ア あらゆる国が集結する。 イ 静かな部屋で学習する。 ウ 大いに話し合う予定だ。 エ 小さい服を無理に着る。
- 4 次の四つの熟語が完成するように、□に共通してあてはまる漢字一字を、行書で書きなさい。
- (心・解□・対□・算□)
- 3 線部「千差万別」とあるが、「それぞれに違っていること」という意味の四字熟語を完成するために、□に適切な漢字を二字書きなさい。

令和元度 第二回

- 1 行書の特徴の一つに、筆順の変化がある。部首にこの特徴を用いて、——線部「茶」を行書で書きなさい。
- 2 線部「部屋」の空気が澄んでどこか山の朝のようだ。」は、いくつの文節からなるか。漢数字で書きなさい。

令和元度 第一回

- 3 次の文の()に入る正しい敬語表現はどれか。ア～エから一つ選び、記号で答えなさい。
- 先生が()ように私のクラスは個性豊かだ。
- ア おっしゃった イ おっしゃられた ウ 申した エ 申された
- 4 次の行書で書かれた漢字のうち、楷書で書いた場合、部首が他の三つと異なるものはどれか。ア～エから一つ選び、記号で答えなさい。
- ア 福 イ 神 ウ 補 エ 祝
- 1 線「近い」の品詞と活用形をそれぞれ書きなさい。
- それはさておき、本選びは、結局は、人選びであり、つまりは、友達を選ぶ感覚に近いものだと思う。

平成三十年度 第三回

- 2 線部A「おっしゃって」とあるが、「言う」の尊敬語は「おっしゃる」である。では謙譲語は何か、終止形で書きなさい。
- 3 線部B「縮」について、行書で書かれた漢字を楷書で書いた場合に総画数が同じになるものを、ア～エから一つ選び、記号で答えなさい。
- ア 閑 イ 聴 ウ 機 エ 薄
- 4 線部C「泰」自□とあるが、「慌てず落ち着いている様子」という意味の四字熟語を完成するために、二つの□に適切な漢字を書きなさい。
- 2 線部A「発達」について、この語句の上に漢字一字を加えて、打ち消しの意味となる三字熟語にして書きなさい。
- 3 線部B「ような」と同じ意味・用法のものを、ア～エから一つ選び、記号で答えなさい。
- 彼は田沼意次のようなわいろを禁止し、享保の改革を夢見て「寛政の改革」を強く進めます。
- ア 雨が降るような空。 イ 太陽のような笑顔。 ウ 勝てるような練習。 エ 日本のような島国。
- 4 線部C「日雇い労働者」・D「経験」・E「食べ物」・F「てんぷら」の各言葉の種類を、ア～エからそれぞれ一つ選び、記号で答えなさい。
- ア 和語 イ 漢語 ウ 外来語 エ 混種語

平成三十年度 第二回

- 1 線部a「どの葉を使うか」の「どの」と同じ品詞の単語を、——線部ア～エから一つ選んで記号で答え、その品詞名を漢字で書きなさい。
- ア ぎつしり(詰まって) イ これ(だけ葉を持っている) ウ さつと(葉を挟んで) エ あらゆる(情報が)
- 2 線部b「眺」について、行書で書かれた漢字を楷書で書いた場合、総画数が同じになるものをア～エから一つ選び、記号で答えなさい。
- ア 紹 イ 閑 ウ 被 エ 越

平成三十年度 第一回

- 2 線部A「見せるように」について、この文節が修飾している文節を、ア～エから一つ選び、記号で答えなさい。
- 龍臣はそう言々と、葉にア見せるように箱のふたを開けた。
- 3 線部B「値の張る」を次のように書きかえたとき、()にあてはまる言葉を二字で書きなさい。
- 値段が()。
- 2 線部「寝床」と同じ構成の熟語を、ア～エから一つ選び、記号で答えなさい。
- ア 回転 イ 流水 ウ 着地 エ 年長